

「四条派への道 呉春を中心として」関連ワークショップ

篆刻で 「春」を彫る



掛軸や屏風の端に添えられた印章は、デザインや書体もさまざまであり、作品によって使い分けることもありました。呉春も生涯に複数の印章を使用していたことが分かっています。

今回のワークショップでは、呉春の名前でもある「春」を篆刻で彫り、印を作ります。彫るだけでなく、日常での使い方についても学びます。

日 時：2019年4月13日（土）、14日（日）
10時15分～、14時～（所要時間2時間30分）

定 員：各回4名

対 象：中学生以上

材 料 費：1000円

*別途入館料が必要です（ココロンカード・のびのびパスポート呈示の中学生は無料）

*刃物を使用します。

講師

印石・彫書 彫々葉
寺本 硯 氏

神戸生まれ、神戸育ち、神戸在住

幼少の頃、お習字の稽古に通い、社会人になり書を学び、篆刻と出逢う。その後、自宅にて書・篆刻の楽しさを伝え始め、それらを活かす為の御包、水引に興味を持ち、現在は、神戸、金沢、仏蘭西への出張稽古と、2014年から新神戸のアトリエを持で、筆書・篆刻・御包・水引の指導を始動。大人が生活を豊かにするための空間造りに取り組んでいる。

申込方法

往復ハガキまたはメール（shijyohaws@otanimuseum.jp）に、氏名・年齢・住所・電話番号・希望日時を明記。1回の応募で2名まで。3月25日（月）必着。

応募者多数の場合は抽選。